

# としょかん宇治

No. 12

1987年6月1日 発行

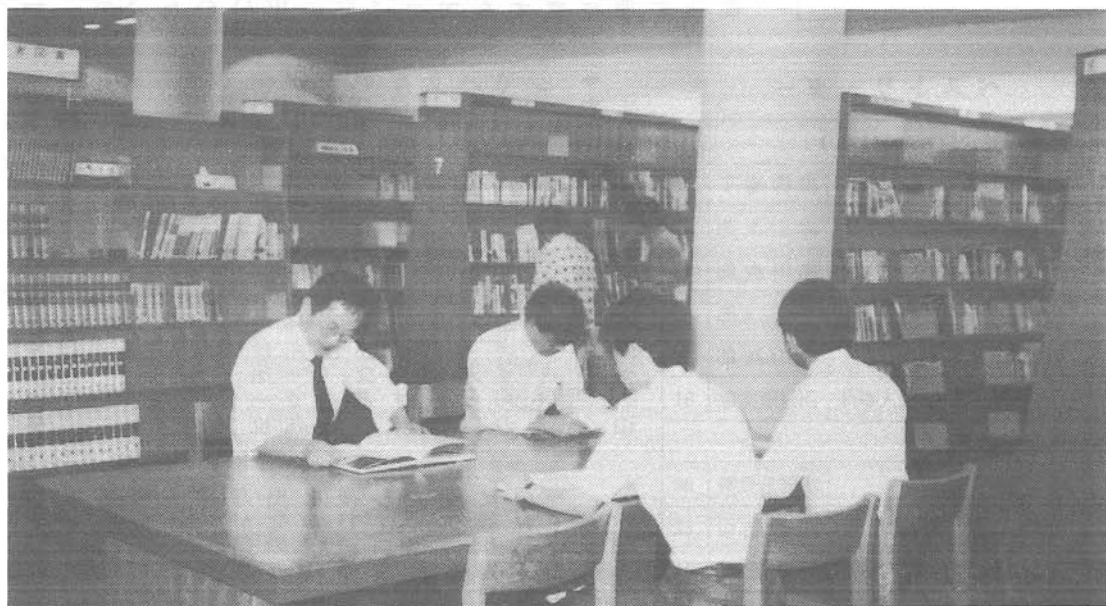
宇治市中央図書館

宇治市文化センター内

〒611

宇治市折居台1丁目1番地

電話 (20)1511



## 私と読書

宇治市教育委員会教育長

岩 本 昭 造

作家の吉川英治さんが若いころ、百科辞典を五十回読んだのは本当なんだなという感じを深くしたことがある。それは、かつて数人の文壇人と東京・芝の料亭で会食をしたとき、出されたメニューに「強肴」と書いてあるのを「シイザカナ」と読んだのは、吉川さんだけだった。「強肴」と書いて、「シイザカナ」と読むとは、大学で教えてくれない。これは百科辞典を頼りにし、ひとつひとつ、体験を通じて確実にモノにして行った知識だからである。というようなことを扇谷正造さん（評論家）が、『君よ朝のこない夜はない』の本に書いておられる。

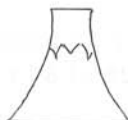
評論家の森本哲郎さんはその著『「私」のいる文章』のなかで、西堀栄三郎氏の『南極越冬記』を読み、科学者西堀栄三郎氏が、議論する前に百科辞典を持ち出せといっているのは、常に心すべき大事な教訓である。判断というものは、知識の土台の上に組み立てられるものである。だから正確な知識を欠いていれば、正確な判断が下せようはずがない。水かけ論というのは、どちらにも正確な知識の土台がないところから起るものである。と述べられている。

扇谷さんの本は講演集である。しかし、スピーチがそのまま文章になっており、エッセイ集といえよう。エッセイが、自由な形式で気軽に自分の意見などを述べた散文だけに、読む方も肩が凝らず、それでいて、あれこれ考えるヒントを与えてくれるものだ。この二冊のエッセイ集のなかの百科辞典のくだりは、いま、学校教育で盛んに叫ばれている基礎基本の重視が、実は子どもだけでなく、大人にも大切であると訴えているのではないかと思う。

その意味から、教育長としての基礎基本をより確かなものにするべく「学べば則ち固ならず」の名言を思い出し「つんどくこともまた楽し」と眺めている本のなかから、専ら、エッセイを読んでいる昨今である。

読まれた本の量

富士山の  
2.4倍



計算)本館の場合、一日平均の貸出冊数は一、二二三冊です。一年間の利用者数を見ると、のべ一四三、

448,321冊の本を  
【61.4.1~62.3.31】貸出しました

市民一人あたり二六冊の貸出し  
昭和六十一年度の利用状況によると、本館三五二、〇八九冊、移動図書館九六、三三二冊、合計四四八、三三二冊の本が貸出されました。市民一人あたりになると二・六冊となります。これは昨年度に比べると五・一%の増加です。貸出した本を上積み上げたところ、その高さは富士山の約二・四倍にもなります。(一冊の厚さを二cmとして

ベストリーダー

* 文学 (小説・エッセイ)			利用回数
1	窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子	95
2	三毛猫ホームズの怪談	赤川 次郎	89
3	三毛猫ホームズの幽霊クラブ	赤川 次郎	86
4	札幌着 23時 25分	西村京太郎	82
5	知り過ぎた木々	赤川 次郎	81
5	日本一周「旅号」殺人事件	西村京太郎	81
* 文学以外			
1	袖すりあうも嫁姑	小林千登勢	38
2	やさしい税の話	井上 隆司	32
3	気くばりのすすめ	鈴木 健二	31
* 児童書			
1	バーバパパのプレゼント	アネット=チゾン	153
2	バーバパパのはこぶね	アネット=チゾン	151
3	バーバパパのがっこう	アネット=チゾン	150
4	バーバパパのだいサーカス	アネット=チゾン	144
5	バーバパパたびにでる	アネット=チゾン	138

三九二人で、それだけの方が中央図書館で本を借りられました。  
「窓ぎわのトットちゃん」が利用第一位!!  
また、ベストリーダー(最もよく読まれた本)を見てみると、文学(小説・エッセイ)では第一位が「窓ぎわのトットちゃん」で九十五回の利用がありました。そして、赤川次郎や西村京太郎などの推理小説が上位を占めています。文学以外では「袖すりあうも嫁姑」(小林千登勢著)が第一位、児童書ではバーバパパのシリーズやソントンのシリーズなどが人気を集めています。  
本館登録者は三二、四七七人  
また、本館の登録者数(昭和

六十二年三月三十一日現在)は三二、四七七人、そよかせ号の登録世帯は一、七四五世帯となっています。登録している人の割合は全人口の一八・五%で、移動図書館そよかせ号の分を含めると二一・六%の方が登録をされています。(世帯貸出なので一世帯三人として計算)なお、詳細な利用状況については後日、冊子として発行する予定をしております。  
今年度も、昨年度以上に生活に役立つ情報を提供し、利用者の方に親しんでもらえる図書館づくりのため、一層の努力をしたいと思っています。  
どうぞお気軽に、図書館をご利用ください。



はしれ!  
そよかせ号  
五月一日から十四日は子供読書週間。昨秋に続き、そよかせ号の巡回日におはなし会を行いました。会場は五月七日、西岡屋会館、二十一日はユニチカの蔭山集会所です。紙芝居、絵本の読み聞かせなど、二十分間を二回ずつ行いました。どちらも移動図書館の駐車場のすぐそばです。そよかせ号には絵本やよみものなどたくさん本を積んでいます。おはなしを楽しんでくれた子供たちが一人でも多くそよかせ号に集まり、いっぱいの本を借りてくれることを願っています。

# 図書館へようこそ

## 利用者インタビュー

### 第1回

#### 貴志治子さん

「利用者の方と共にくらしの中の図書館を考えていきたい……。」そんな思いをこめてインタビューのコーナーを始めます。今回は、伊勢田町砂田にお住まいの貴志治子さん（五十歳・主婦）におたずねしました。

— 図書館をよく利用されていますか。

ええ、一カ月に二、三回は図書館に行きます。主人か娘のどちらかと二人で、車で……。

— どんな本をよく読まれますか。主に小説・エッセイです。昔は小説が多かったのですが、三、四年前から、俳句、川柳の本も読むようになりました。小説では松本清張、渡辺淳一、水上勉などの作家が好きですが特に決まっています。 「婦人公論」などの雑誌

もよく借ります。

— 図書館を利用してご感想をお聞かせください。

私は市民会館の図書室の時代から利用させてもらっていますが、今はきれいな充実した図書館になり、利用者としてありがたいことだと思っています。職員の方の親切な対応も喜んでおります。私たちが借りる方としても、借りた本はいためない、返却の期日は守る、ということが大事だと思っています。以前、予約した本を府立図書館から借りていたなど、たいへん感謝しています。

— 図書館に対して要望がありましたらどうぞ……。

私の希望としては、図書館で一年に一回ぐらい本の好きな人が集まって、本についての情報交換のようなものができれば、と思っています。また、作家の方の講演も聞きたいです。

— 本日はどうもありがとうございます。



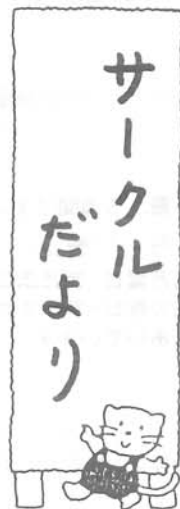
### ☆ 絵本の会

幼い頃に聞いた昔話や絵本の数々に、もう一度出会ってみませんか。お子様と一緒に、絵本を楽しんでみませんか。

絵本の読み語りを通し子供達の心に夢を手渡せたらと、お話し会（小倉公民館で毎月第二水曜日に開催）をしながら、子供の本について学んでいます。

- \* 例会：毎月第一金曜日
- \* 場所：中央図書館集会所
- \* 問い合わせ：後藤まで

二二一  
八九九二



サークル  
だより

- ☆ 宇治市読書クラブ協議会
  - 一冊の本からの出会いを信じて読書活動の振興と普及、及び地域文化の向上を図るために、市民参加の行事を毎年行っています。
  - ① 郷土史学習会『宇治川』
    - 「タイムスリップ宇治」と題して市内に残る昔を訪ねます。
    - 六月十日：新田駅から大久保（見学）
    - 六月二十四日：伏見宿から大和口六地藏（学習）、毎月第二・四水曜日、午前十時～正午、宇治公民館で、講師は若原英弐氏。
  - ② 社会見学会
    - 学文学散歩は十一月の予定。
  - ③ 講演会、読書交流会

### ☆ 宇治市史を学ぶ会

- \* とき 第一・三木曜日
- \* ところ 午前十時～十二時

中央図書館集会所  
\* 講師 若原英弐 先生

現在、宇治市史第五巻の「志津川」方面を学習中で、まもなく第六巻「西部の生活と環境」に入る予定です。その他にも、歴史資料館の展示物の解説をお願いしたり、気候のよい時期には現地へ出かけ、実際に目で見ながら歴史の移り変わりを学んでいます。

会、国体協力等の事業を行う予定。問い合わせ：前川（☎二三四五八）

☆ 宇治児童文庫連絡会  
宇治市内の十四文庫が参加して月一回、第二金曜日に図書館の集会所で例会もっています。九年目の今年は、春と秋に学習会を計画しました。春は右手和子さんを講師にお迎えし、紙芝居を上手に演じられる文庫のおばちゃんをめざして、五月二十八日中央図書館、三十日には中央公民館で学習会を行いました。秋は、樋口正春氏の講演会を予定しています。

### 郷土のはなし

#### 三室戸寺

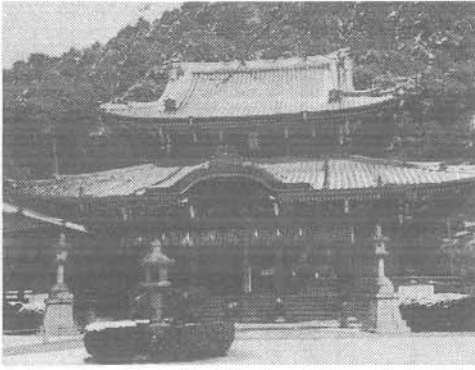
三室戸寺は菟道滋賀谷にあってもと天台宗寺門派に属し、「明星山三室戸寺」と号しています。現在は「西国三十三カ所観音霊場の第十番札所」として有名です。

寺伝によると、宝亀年間(七七〇〜七八一)の光仁天皇のとき、宮中にて「おつげ」があり、菟道山の奥志津川の水源、岩淵にて黄金の千手観音像がみつかり、それを本尊としたといわれています。光仁天皇はこの尊像の出現を喜び、御室を移してこれを安置し、御室戸寺としたのが寺のはじまりと伝えられています。

康和元年(一〇九九)のころ、三井寺の僧隆明が中興開山として伽藍を整備しましたが、その後数度にわたる火災により荒廃、文明年間(一四六九〜一四八七)後土御門天皇の勅命によって現在地に再興されました。天正元年(一五七三)、足利義昭と織田信長が宇治横島に合戦の折、当時の寺の僧侶が義昭に応援したため、信長の怒りにあって寺は焼かれて衰退しました。

現在の本堂は文化年間に再建されたものであって、往時は塔頭子院を多数有した大寺でしたが、今は本堂、阿弥陀堂、鐘楼、鎮守などを残すにすぎません。

当初は王朝貴族の崇敬をうけた貴族の寺でしたが、平安末期から中世においては、観音への深い信仰に支えられた人々の修験と、西国巡礼の聖地として知られていきました。幾多の混乱を見たであろう庄倒する老杉の林、千数百年の歴史の歩みから修験者たちの声が聞こえてくるかのようです。



・中央図書館では、郷土資料を収集しています。地域で出版された図書や団体の報告書等、寄贈をお願いいたします。

### 本をかりるには

#### 一 利用案内

##### 中央図書館

市内にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方ならどなたでもかりられます。

- ・貸出は、1人3冊、3週間です。
- ・開館時間は、9時〜17時です。
- ・休館日は、毎週月曜日・毎月末日  
国民の祝日・年末年始  
土曜・日曜もあいています。

##### 移動図書館

月に市内24カ所を巡回しています。

- ・貸出は、1世帯に20冊までです。
- ・次回巡回日に返却して下さい。
- ・日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。

(中央図書館の場所)



京阪宇治 または  
近鉄大久保から  
「太陽が丘」  
行バス乗車  
「折居台口」  
バス停  
下車すぐ



### 編集後記

◆ 対前号、及比五・一%。二面でお知らせした一年間の貸出冊数の伸び率です。市民の皆さんに支えられ、図書館は確かな歩み

◆ を続けています。今後も、利用者の期待に応えられるよう頑張っていきたいと思っております。

◆ 「図書館へようこそ」は、利用者の率直なご意見をお聞きして図書館をみんなで考えていくコーナーです。どうぞよろしく。